

国際シンポジウム開催のご案内とご参加のお願い

前略、猛暑の候、皆様にはますます御繁忙のこと、お慶び申し上げます。

さて、下記の要領で、アルツハイマー病超早期治療と、官民パートナーシップを主題とした国際シンポジウムを開催することになりました。プレクリニカル AD の提唱者 Sperling 教授、ADNI の Weiner 教授、世界認知症カウンスル委員の黒川清先生をはじめとする著名な研究者を多数お迎えし、極めて有意義な会になるものと存じます。参加は無料で、ご所属先ごとの参加数の制限はございませんので、是非とも奮って皆様のご登録とご出席をお願いいたします。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

草々

平成 28 年 8 月 1 日

東京大学大学院医学系研究科・神経病理学、附属病院・早期・探索開発推進室

岩坪 威（主催者代表）

追記：8 月 1 日現在約 250 名の登録を頂いておりますが、まだ会場には若干の余裕がありますので、定員に達するまで可能な限りお申し込みを受け付ける方針と致します。

“Very early treatment of Alzheimer’s disease and impact of public private partnership”

(シンポジウム：アルツハイマー病の超早期治療と官民パートナーシップのインパクト)

主旨：プレクリニカル期を含むアルツハイマー病超早期段階を標的とする、疾患修飾薬を用いた治療研究・開発の最先端状況と、その実現に向けた官民パートナーシップ(PPP)のあり方について、日米欧の専門家による発表と意見交換を行う。

日時：2016年8月23日(火曜)午後1-6時

場所：東京大学伊藤謝恩ホール(東大赤門横、地下2階)

ご挨拶：宮腰奏子・厚生労働省認知症施策推進室長、高久文麿・日本医学会会長

発表者と発表内容(仮題・発表予定順)

Reisa Sperling (ハーバード大/ブリガムアンドウィミンズ病院、A4 研究主任研究者)

プレクリニカル AD と A4 研究

Kiyoshi Kurokawa 黒川 清 (東京大学名誉教授、WDC 委員) 認知症研究の未来と WDC

Michael Weiner (カリフォルニア大学サンフランシスコ校、米国 ADNI 主任研究者)

ADNI 研究と未来型レジストリー(Brain Health Registry)の展開

Takeshi Iwatsubo 岩坪 威 (東京大学) J-ADNI と本邦における AD 超早期介入研究

Johannes Streffer (Janssen) BACE1 阻害による超早期 AD 治療

Hiroshi Mori 森 啓 (大阪市立大学) AMED プレクリニカル期 AD 研究と DIAN-J

Michael Donohue (南カリフォルニア大, Alzheimer Therapeutics Research Institute)

アルツハイマー治験コホート形成におけるアミロイドリスク評価

Jason Bork (GAP Foundation) GAP とアルツハイマー病予防の世界展開

Russell Barton (米国イーライリリー) グローバルファーマと PPP

主催：東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野、超早期 AD 治療/PPP シンポ実行委員会

参加無料、使用言語：英語(通訳なし)、後援：厚生労働省(申請中)、PMDA(申請中)、

日本医療政策機構、米国商工会議所日本支部(ACCJ)、日本認知症学会ほか

お申し込み方法

下記のメールアドレスに、「アルツハイマー病・官民パートナーシップシンポジウム参加希望」と記し、ご氏名、ご所属、返信メールアドレスを書き添えて、お申し込み下さい。事務局よりご返信を申し上げた段階で登録完了とさせていただきます。一通で複数名のお申し込みもお受けしますが、必ず全員の氏名・所属とメールアドレスをお書き下さい。

(申し込み・お問い合わせアドレス) ueecd-office@umin.org